

- 問1 世界のエネルギー資源に関する統計において、石油の確認埋蔵量は約1兆7000億バレル、可採年数は約51年とされています。このような状況下にあるサウジアラビアなどの国々が、将来を見据えて実施している経済政策の説明として正しいものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 石油の埋蔵量が実質的に無限であることが近年の調査で判明したため、輸出価格を安く設定することで他国の代替エネルギー開発を阻止する政策をとっている。
 2. 石油資源の枯渇や急激な価格変動による経済への悪影響を抑えるため、都市開発や観光、先端技術産業など、石油以外の分野へ投資し産業を多様化させている。
 3. 石油の価格が将来的に安定して上昇し続けるという予測に基づき、他の産業への投資をすべて停止し、石油の増産と輸出に特化する政策をとっている。
 4. 天然ガスの可採年数が石油よりも大幅に短く、価格も安定しているため、石油採掘を完全に廃止して天然ガスの輸出へと一本化している。
- 問2 インドにおける二酸化炭素排出量と経済状況について、統計資料から読み取れる特徴とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）
1. 人口減少社会に突入しており、労働力不足から工場が閉鎖されているため、総排出量は年々減少している。
 2. 1人あたりの所得水準が世界最高水準に達したことで、自家用車の普及が飽和状態になり排出量が微増している。
 3. 膨大な人口を背景に、安価な石炭を主なエネルギー源とした急速な工業化が進んでいるため、総排出量が多い。
 4. 森林資源が極めて豊富なため、工業化が進んでも国全体の二酸化炭素排出量はマイナスを維持している。
- 問3 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 南アジア
 2. 東アジア
 3. 東南アジア
 4. 中央アジア
- 問4 1970年代から急速な工業化を遂げ、高い経済成長を実現した国や地域は、新興工業経済地域（NIES）と呼ばれます。アジアNIESに含まれる国や地域の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
1. タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム
 2. 日本、韓国、中国、インド
 3. オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、カナダ
 4. 韓国、台湾、香港、シンガポール
- 問5 2000年には128社であったベトナム進出の日系製造業の企業数は、2012年には373社へと急増しています。このように、日本の製造業がベトナムへの進出を拡大させている主な理由として、労働力の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. ベトナムは周辺諸国に比べて人口が圧倒的に多く、自社製品を販売するための巨大な消費市場として成熟しているから。
 2. ベトナムは石油や石炭などの鉱産資源が極めて豊富であり、原材料の調達コストが日本国内よりも安く済むから。
 3. ベトナムの製造業作業員の平均月収は、日本を100とした指数で見ると5を下回るほど低く、生産コストを大幅に抑制できるから。
 4. ベトナムの労働者は日本を上回る高度な技術力を有しており、日本国内では不可能な高精密な製品の製造ができるから。
- 問6 日本から見て南西の方向に位置し、大陸から突き出したマレー半島や、インドネシア、フィリピンといった多くの島々によって構成される地域の名称を答えなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 東アジア
 2. 東南アジア
 3. 南アジア
 4. 西アジア
- 問7 東南アジアのインドシナ半島東側に位置する国で、1976年の南北統一後、共産党大会において社会主義体制のもとで工業発展を目指す経済路線を採択した国はどこか、次の中から選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. タイ
 2. ベトナム
 3. フィリピン
 4. インドネシア
- 問8 世界の農産物生産統計において、インドネシアが世界第1位、マレーシアが第2位の生産量を占めている農作物を次から選びなさい。この作物は、熱帯の広大な土地でプランテーション農業によって生産されています。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 天然ゴム
 2. コーヒー
 3. 油ヤシ
 4. 茶
- 問9 アジアの主要国における経済と産業の特色について、2000年代以降に国内総生産（GDP）が著しく上昇し、製造業においては自動車生産台数が韓国やタイを上回る規模まで拡大した国の状況として、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 豊富な原油や天然ガスの輸出によって得た外貨のみを資本として、国家主導で重化学工業を発展させてきた。
 2. 膨大な人口を背景とした巨大な国内市場の拡大が、自動車などの工業製品の生産増加を後押ししている。
 3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）の結成メンバーとして、域内での自由貿易をリードし工業化を達成した。
 4. 少子高齢化が急速に進んでいるが、自動化技術の導入によりアジアで最も多い自動車生産台数を維持している。
- 問10 1980年のインドネシアでは、原油や天然ゴムといった原料・燃料の輸出が中心でしたが、2016年には輸出総額が約15倍に拡大し、機械類が輸出額の約4割を占めるようになるという大きな変化が見られました。このように、産業の中心が農林水産業や資源採掘から製造業へと移り変わる現象を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 輸入代替化
 2. モノカルチャー経済の継続
 3. 農業の多角化
 4. 工業化
- 問11 ある統計資料において、2001年と比較した対日輸出額の増加比率が10倍を超え、進出した日本企業数も500社以上増加していることが示されたASEAN加盟国がある。この国の現在の様子を説明したものとして正しいものはどれか。（2023年 東京都公立入試 類似）
1. 世界最大の島嶼国（とうしょこく）として知られ、ジャカルタなどの大都市周辺で天然ガスの採掘と日本への輸出が経済を支えている。
 2. 首都ハノイの近郊には日系の自動車工場があり、南部最大の都市であるホーチミンでは日系のコンビニエンスストアが増加している。
 3. 内陸国としての地理的条件を活かし、中国との鉄道網整備を優先しているため、日本企業の進出数はASEANの中で最も少ない。
 4. 首都バンコクを中心に自動車の生産が盛んで、古くから「東洋のデトロイト」と呼ばれ日本企業が集中している。
- 問12 アジアの自然環境と農業の関係について述べた文として、季節風の影響を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 赤道付近から常に一定の方向に吹く風の影響により、一年を通じて高温多湿な熱帯雨林気候が維持されている。
 2. 一年中西から東へ一定の方向に吹く風の影響で、季節による降水量の変化がほとんど見られない。
 3. 昼と夜で吹く方向が入れ替わる風によって、沿岸部では一日の気温の変化が非常に小さくなっている。
 4. 夏に海洋側から吹き込む湿った風が山脈などにぶつかって多量の雨を降らせ、稲作に適した環境を作っている。